

科目別キーワード集 利用の手引き

- ・本キーワード集は、大学で心理学を学んだ成果を評価する基準という観点から設定されています。
- ・心理学検定で認定された級が心理学系大学院の入学試験選考資料となることも想定して項目を選択しています。
- ・このファイルには、科目ごとのキーワードを専門用語と人名を分けて記載しています。
- ・心理学検定は各科目 20 問の出題なので、回ごとに見れば出題されない項目の方が圧倒的に多くなります。他方、各種の心理学辞典に比べると項目数をかなり絞っているため、本キーワード集にない項目に関わる問題が出題される可能性もあります。
- ・本キーワード集に含まれるすべての項目は、[『心理学検定 専門用語 & 人名辞典』](#)で解説されています。
- ・上記以外にも、[公式問題集](#)や[推薦書籍](#)などを活用して系統的に学んでください。

【犯罪・非行】

注：◎は「公認心理師試験出題基準・ブループリント：令和3～5年版」の小項目に対応するキーワード

事項

● アルファベット

FBI方式のプロファイリング
PEACEモデル
PFI刑務所

● ア行

- ◎ 愛着
アノミー／アノミー理論
暗数
逸脱行動
一般改善指導
一般緊張理論（GST）
遺伝子
- ◎ 医療観察制度
隠匿情報検査（CIT）
ウェクスラー式知能検査

● カ行

- 学歴アノミー
家事事件
- ◎ 家庭裁判所
家庭裁判所調査官
- ◎ 家庭内暴力／夫婦間暴力
環境設計による犯罪予防（CPTED）
環境犯罪学
観護措置
鑑定
鑑別
- ◎ 虐待
凶器注目効果
矯正処遇
虚偽記憶
虚偽自白
緊張理論
グッド・ライブズ・モデル
ぐ犯少年
クライムマッピング
- ◎ 刑事施設
刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律
刑務所
検挙件数
ケンブリッジ非行発達研究
- ◎ 行為障害／素行症
- ◎ 攻撃性／攻撃行動
更生緊急保護
- ◎ 更生保護
拘置所
合理的選択理論
勾留
- ◎ 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（ハーグ条約）
コントロール質問法

● サ行

- サークル仮説
サイコパシー
- ◎ 裁判員制度
再犯者率

- 再犯リスク
作業（刑務作業）
シカゴ学派
試験観察
事件リンク分析
自己愛傾向（ナルシズム）
事後情報効果
- ◎ 児童虐待
- ◎ 児童自立支援施設
- ◎ 児童相談所
児童の権利に関する条約
児童養護施設
自白
- ◎ 司法面接
社会解体
社会的絆理論
- ◎ 社会内処遇
社会復帰調整官
受刑者
生涯持続型犯罪者
状況的犯罪予防
小児性愛障害
- ◎ 少年院
- ◎ 少年鑑別所
少年刑務所
触法少年
心神耗弱
心神喪失
審判鑑別
スティグマ
ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー規制法）
ストッキング
ストックホルム症候群
- ◎ ストレス
精神鑑定
精神病質
静的リスク要因
青年期限定型犯罪者
性犯罪再犯防止指導
性犯罪者情報公開法（メーガン法）
生来性犯罪者説
ゼロ・トレランス政策
全件送致主義
セントラル・エイト
捜査心理学
捜査面接

● タ行

- ダークトライアド
代理ミュンヒハウゼン症候群（MSbP）
探索質問法（SCIT）
知能
中和の技術
地理的プロファイリング
低自己統制
デートバイオレンス（デート暴力）
敵意帰属バイアス
- ◎ 動機づけ面接

【犯罪・非行】

注：◎は「公認心理師試験出題基準・ブループリント：令和3～5年版」の小項目に対応するキーワード

統計的プロファイリング

統制理論

動的リスク要因

- ◎ 特性5因子モデル／ビッグ・ファイブ

特定少年

特別改善指導

ドメスティック・バイオレンス（DV）

取調べ

● ナ行

7つの着眼点（精神鑑定における）

二次被害

日常活動理論

認知インタビュー（認知面接）

● ハ行

- ◎ パーソナリティ障害

ハームリダクション

- ◎ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律－
（DV防止法）

発生率

犯罪者プロファイリング

犯罪少年

犯罪統計

犯罪の転移

犯罪パターン理論

- ◎ 犯罪被害者等基本法

- ◎ 犯罪予防

- ◎ 反社会性パーソナリティ障害（ASPD）

- ◎ 非行／少年非行

非行下位文化理論

皮膚電気活動

複雑性悲嘆／遷延性悲嘆症

文化葛藤理論

分化的機会構造理論

分化的接触理論

法務教官／法務技官（心理技官）

法務省式ケースアセスメントツール（MJCA）

法務少年支援センター

保護観察

- ◎ 保護観察所

保護司

保護処分

ポリグラフ検査

● マ行

マインド・コントロール

マキャベリアニズム

マグショットバイアス

守りやすい空間

- ◎ 面会交流

面通し

面割り

目撃証言

● ヤ行

- ◎ 薬物依存症／薬物依存離脱指導

有罪知識検査（GKT）

● ラ行

ラベリング／ラベリング理論

リスク－ニード－反応性原則（RNR原則）

リパブル方式のプロファイリング

量刑判断

リラプス・プリベンション・モデル

臨床的プロファイリング

レイプ神話

● ワ行

割れ窓理論

人名

● カ行

カンター（Canter, D.）

● サ行

サザランド（Sutherland, E. H.）

● タ行

デュルケーム（Durkheim, D. É.）

● ハ行

ハーシ（Hirschi, T. W.）

ベッカー（Becker, H. S.）

● マ行

マートン（Merton, R. K.）

● ラ行

ロフトス（Loftus, E. F.）

ロンブローゾ（Lombroso, C.）